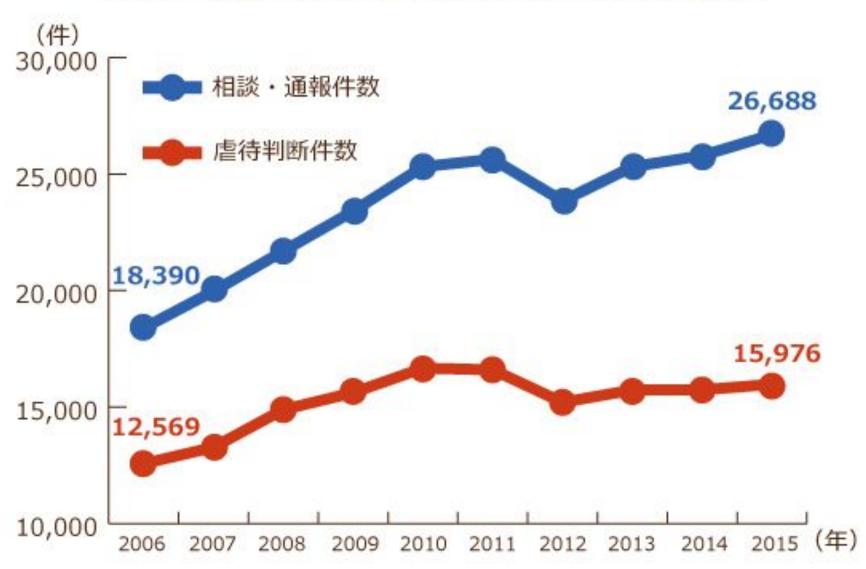
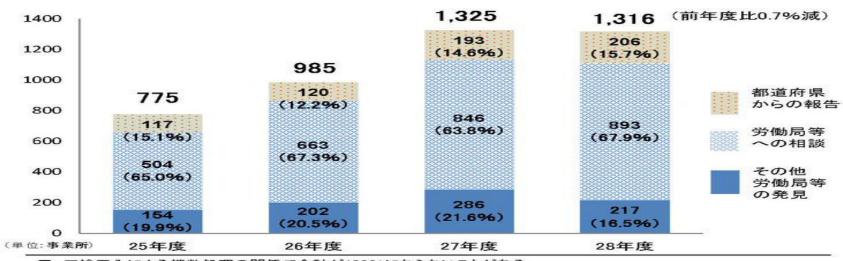
養護者による高齢者虐待の 相談・通報件数と虐待判断件数の推移



平成28年度における使用者による障害者虐待の状況

1 通報・届出

(1) 通報・届出の寄せられた事業所数(把握の端緒別)



■ 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

(2) 通報・届出の寄せられた障害者数



虐待の発生要因

教育・知識・介護技術等に関する問題

職員のストレスや感情コントロールの問題

- 虐待を行った職員の性格や資質の問題
- 倫理観や理念の欠如
- 虐待を助長する組織風土や職員間の関係性の悪さ
- 人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ

その他

(複数回答)

0 10 20 30 40 50 60 70 (%)

出所:厚生労働省

虐待を防止する取り組み

☆虐待されても自覚のない高齢者は29.8パーセント 自分が虐待しているという自覚のない虐待者は54.1パーセント

『医療経済研究機構より「家庭内における高齢者虐待に関する調査」2004』

⇒当事者全員が虐待を認識しているとは限らない為、注意深く 観察する必要がある。

例えば、

「体のアザが増えている」 「食事量が日に日に減っていく」

別の要因も考えられるが、まずは

事務所へ報告



ホウレンソウ

(報告・連絡・相談)

大事

